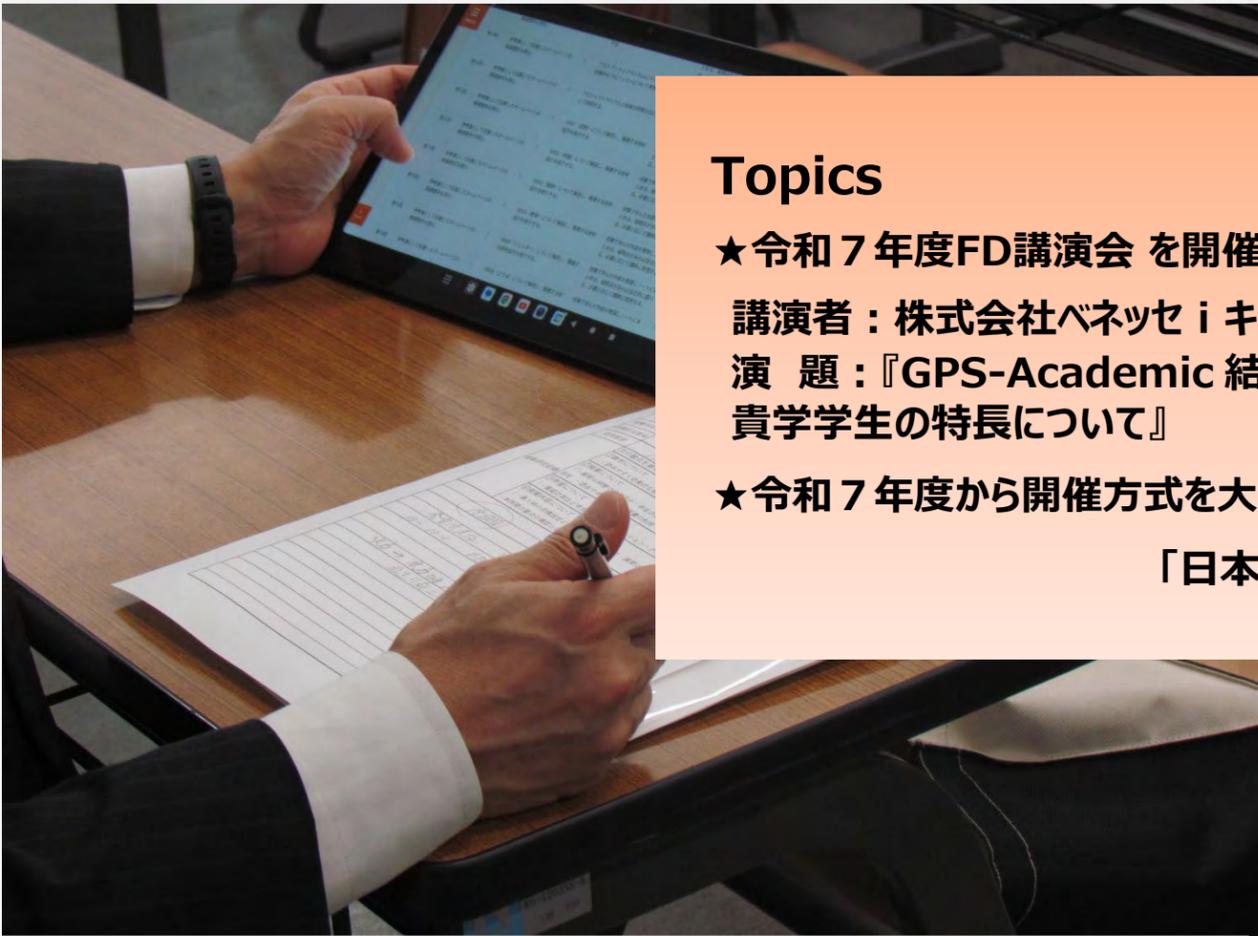


FD ニュース

2026年3月発行



令和7年度新規専任教員対象とした授業研究 FD委員が報告書を作成

Topics

★令和7年度FD講演会を開催！

講演者：株式会社ベネッセiキャリア 黒田 紀夫 氏

演題：『GPS-Academic 結果からみる8つの力習得度・貴学学生の特長について』

★令和7年度から開催方式を大幅改編！

「日本大学 学生 FD CHAmmit」

FD委員会では、年1回FDニュースを作成しています。本紙が本学部の教育環境改善に役立てば幸いです。

目次

表紙（1ページ）

FD委員長 挨拶（1ページ）

令和7年度FD講演会（2ページ）

令和7年度授業評価アンケート（2ページ）

令和7年度日本大学学生FD Chammit
（2ページ）

令和7年度授業研究（3ページ）

ゼミナール加入率向上への取り組み（3ページ）

ご挨拶

令和7年度の取り組みとして、『GPS-Academic 結果からみる8つの力習得度・貴学学生の特長について』を演題としたFD講演会が実施されました。本学部学生の強みと課題が確認されましたが、授業においてどのように伸長や改善を図ることが可能かを考える機会となりました。また、本年度の「学生FD CHAmmit」は、事前ミーティングを2度実施し、学部の課題や改善案を学生と教職員で活発に討議しました。当日は持ち寄った議題を他学部の方々と深く議論し、実施可能なアクションプランとして練り上げるに至りました。参加された学生および教職員におかれましては、本学部のみならず日本大学全体の現状と課題を改めて認識する貴重な機会となったと思います。

さらには、授業内容の省察や改善を目的に、新任教員を対象とした授業研究や授業アンケートが実施されました。授業アンケートは半期毎に行い、その結果を次年度に向けた「授業改善計画報告書」の形で役立てていただいています。今回発行されますFDニュースを通じて、本学のFD活動や教員教育に対する理解を一層深めていただき、教育環境の改善と充実の一助となるように願っています。

FD委員会 委員長 細井 健

令和7年度 第1回 FD講演会 開催

令和7年度第1回FD講演会を令和7年11月13日（木）に開催しました。今年度は、株式会社ベネッセiキャリアの黒田紀夫氏をお迎えし『GPS-Academic 結果からみる8つの力習得度・貴学学生の特長について』と題してご講演いただきました。

本学では、中央教育審議会答申「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」で示された、予測困難な時代における「内部質保証の確立」や

「教学マネジメントの推進」、「学習成果の多面的な可視化」に対応するため、令和5年度より外部アセスメント「GPS-Academic」を導入しております。

本講演会は、これからの時代を生き抜くために必要な「問題解決力」を、思考力・姿勢態度・経験・学生意識調査の4領域で可視化した結果に基づき、本学部生の傾向や今後の対策を学ぶことを目的として実施されました。

当日は、受検結果から見える本学学生の強みや課題について、具体的な報告を受けました。

国際関係学部の傾向として、学年が進行するごとに、「問題解決の質を左右する思考力」、「問題解決に向かう姿勢・態度」、「問題解決の力を磨くための経験」の数値がそれぞれ上昇しており、このスコア上昇率は全学的な結果からみても顕著に表れていると報告がありました。また、「多様性に対する受容」についても全学的に非常に数値が高く、国際関係学部の特徴であることが確認されました。



8つの能力の検証を
GPS-Academicテストにより
3つの観点で捉える

本学は、令和8年度も継続して「GPS-Academicテスト」が実施される予定となっています。

本学部の「GPS-Academicテスト」の受検率は毎年高い結果となっています。先生方のご協力に感謝申し上げます。

日時：2025/11/13（木）

場所：15号館 1512教室



演題『GPS-Academic 結果からみる8つの力習得度・貴学学生の特長について』

講師：株式会社
ベネッセiキャリア
黒田紀夫 氏

日本大学 学生 FD CHAmmiT 開催

★今年で13回目の開催★
 開催日時
 令和7年9月14日（日）
 開催場所
 日本大学会館

令和7年度より
 ★新方式で実施★
 各学部の学生意見及び
 改善結果を本部に集約！

FD CHAmmiT とは？

FD CHAmmiTとは、日本大学に所属する方たちを対象とした「日本大学での教育をより良くするにはどうしたらいいか」について話し合うイベントです。日本大学全学部の学生・教員・職員が集まって、普段はあまり関わりあいが無い三者が、立場や学部を超えて話せる機会はこのFD CHAmmiT だけです。参加者のみなさんからのアイデアが日本大学の教育に活かされるかもしれません。



参加者からのコメント (教務課：水野 寧々)

今回FD CHAmmiTへの参加を通じ、様々な視点から本学の現状を見つめることができました。特に印象的だったのは、異なる学部の学生たちが共通の課題を感じている点です。これにより、全学的な視点で改善に取り組むこと、そして立場を超えた対話を行うことの重要性を強く実感しました。この貴重な経験を糧に、日本大学、そして本学部が学生にとってより良い学び舎となるよう更なる発展に貢献したいと思います。



(上) 事前ミーティングの様子

(下) FD CHAmmiT 当日の様子

★事前ミーティング★

- 1回目 令和7年6月27日（金）
 参加者：学生4名,教員7名,職員4名 計15名
- 2回目 令和7年7月16日（水）
 参加者：学生4名,教員5名,職員7名 計16名

今年は、開催方式を大幅改編！ 学生・教職員171名が参加。

開催方式が大幅改編

今年度よりFD CHAmmiTの開催方式を大幅に改編しました。従来の「事後検討」型から事前に各学部で課題や意見をまとめた上で臨む「事前準備」型へと移行しました。当日は、事前に準備された意見をもとに他学部とのクロス・ディスカッションを行い、議論を深める中で独創的なアイデアが創出されました。最後には、各学部が持ち帰って実践できる具体的なアクションプランの発表が行われ、より実践的な検討の場へと進化を遂げました。

事前ミーティング

FD CHAmmiT 当日に向けた事前ミーティングを2回実施し、「学部および全学に対する意見」をまとめました。

【学部に対する意見】

体育大会を開催したい。履修制限や授業教室選定の改善をお願いしたい。など

【全学に対する意見】

他学部とゼミナールと交流したい。教員のメールアドレス公開の義務化を検討してほしい。など

前学期授業評価アンケート実施

前学期の結果はこちら →



FD委員会では年次計画の1つとして授業評価アンケートを毎年実施しています。授業評価アンケートは、各先生方の授業内容の振り返りや改善に向けて検討など非常に重要な材料となります。前学期は到達度確認期間となる14・15週目に実施しました。その結果、大学院12件、学部12,180件、短大1,366件の回答を集計することができました。お忙しいところ、ご協力いただきましてありがとうございました。

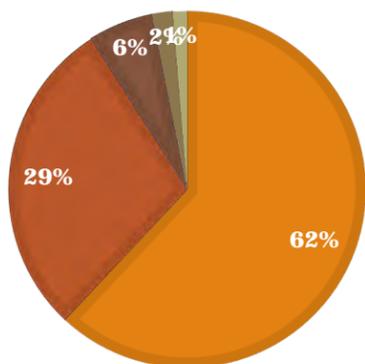
授業評価アンケートは、14項目の設問に対して5段階の評価と授業に対する意見を回答（任意）することができます。設問のうち、授業の満足度を問う項目では、学部・短大ともに高い数値の結果となりました。アンケート結果に基づき計画を立て、実行するPDCAサイクルが有効に機能したと言えるのではないのでしょうか。今後も良好な結果を維持しつつ、更なる学修成果の定着を目指せるようFD活動を継続していきます。令和8年度に向けた授業改善計画報告書の作成も何卒よろしくお願い申し上げます。

質問：この授業は総合的にみて満足度は高かったですか。



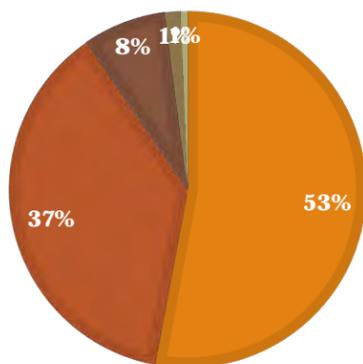
国際関係学部

- 強くそう思う
- そう思う
- どちらでもない
- そう思わない
- 全くそう思わない



短期大学部

- 強くそう思う
- そう思う
- どちらでもない
- そう思わない
- 全くそう思わない



授業改善計画報告書を用いた FD活動におけるPDCAサイクルの確立へ。

本学部では、授業評価アンケートを基に次年度の授業改善計画報告書の作成を義務付けています。この報告書作成により、FD活動におけるPDCAサイクルが確立されます。授業評価アンケートや学修成果の可視化は「点検・評価（Check）」にあたります。この評価結果を受け、「改善（Action）」を図り、次年度の授業を考えるプロセスこそが「改善計画（Plan）」です。この報告書により、次年度の「改善の実行（Do）」が担保され、教育の質を螺旋状に向上させる「スパイラルアップ」が可能となります。

新任教員対象の授業研究を実施

FD 委員会では、年次計画として「授業研究」を実施しています。授業研究の対象は、新任教員となります。

この授業研究は、1つ目に新任教員が希望する授業を参観する。2つ目にFD委員が新任教員の授業を参観する双方で実施しています。

新任教員は、希望した授業の参観後に教材、授業、学習、授業内容等を中心に報告書を作成することとなり、その報告書はFD委員会で報告されます。

一方でFD委員は、新任教員の授業を参観し、「声の大きさ」、「適切な表現」、「熱意」、「授業の進め方」、「質問への対応」、「板書」、「教科書・配付物」の7つの点について5段階で評価し新任教員へフィードバックを行います。

フィードバックされた内容が今後の授業改善に活用できるよう努めています。

今年度の対象者 5名

稲角 光恵 先生
小早川 徹 先生
藤城 一雄 先生
水谷 公彦 先生
築田 香織 先生



新任教員が参観した授業と受け入れた授業

参観授業

稲角 光恵 先生
11月26日(水) 3限
「国際関係論入門」(小副川先生)

小早川 徹 先生
11月26日(水) 4限
「国際文化論入門」(小川先生)

藤城 一雄 先生
11月24日(月) 3限
「地域研究(アメリカⅡ)」(眞嶋先生)

水谷 公彦 先生
11月24日(月) 4限
「食品流通論」(蓼沼先生)

築田 香織 先生
11月25日(火) 4限
「観光交通論」(矢嶋先生)

受入授業

稲角 光恵 先生
11月26日(水) 4限
「国際関係論入門」

小早川 徹 先生
11月24日(月) 3限
「資源エネルギー論」

藤城 一雄 先生
12月2日(火) 1限
「国際協力論」

水谷 公彦 先生
11月24日(月) 2限
「簿記論」

築田 香織 先生
11月27日(木) 2限
「国際観光文化論」



令和7年度授業研究

参観後は、報告書をフィードバック！
更なる教育改善により教育の質の保証
が高まります。



FD委員が参観。報告書を作成し、フィードバックを行う。



ゼミナール加入率向上へ！



ゼミナール紹介活動期間を導入！

令和7年5月26日(月)から5月30日(金)まで15号館1階リフレッシュエリアで、ゼミナール紹介活動を行いました。

令和7年度より学生のゼミナール加入率向上を目的として、新たに「ゼミナール紹介活動期間」を設けました。期間中に行われた対面形式の紹介イベントでは、2年生を対象に各ゼミナール担当教員や現役ゼミナール生による熱心なPR活動が展開されました。

当日は、開始直後から多くの2年生が詰めかけ、会場はこれまでにないほどの大盛況となりました。各ブースでは、教員自らが研究に対する魅力を発信する姿や現役ゼミナール生が積極的に「ゼミでの日常」を等身大で伝える姿が印象的でした。

2年生からは、選考基準や研究内容だけでなく、「ゼミナールの雰囲気」や「ゼミナール合宿」といったリアルな質問が相次ぎ、相談待ちのゼミナールも散見されました。先輩・後輩の垣根を超えた積極的な交流が行われたことで、「ゼミ活動の魅力発信」と「不安の払拭」が極めて高いレベルで実現でき、大成功に終わりました。

このような活動により、加入率向上や満足度向上につながり、ゼミナールが活性化することで、組織としての教育の質を上げるFD活動の結果として現れることを期待したいです。



ゼミナール入室の流れ

説明会

令和7年6月2日(月)
～6月6日(金)

選考期間

令和7年6月9日(月)
～6月18日(水)

結果発表期限

令和7年6月19日(木)

ゼミナール紹介ポスター



